

ニフレルでアメリカビーバーの双子の赤ちゃんが誕生！



ニフレルで生まれた双子のアメリカビーバー(2023年6月3日撮影)

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2023年6月2日(金)15時頃に、2階「うごきにふれる」ゾーンにて、アメリカビーバーの赤ちゃん2頭(性別不明)が誕生しました。現在、赤ちゃんは巣の中で過ごしていますが、時折母親の母乳を飲んだり、両親から毛づくろいされたりする姿が見られます。赤ちゃんは生後10日ほどで巣から出て泳ぎはじめ、両親の体につかまって泳ぐ練習をしたり、“お姫様抱っこ”で抱きかかえられて巣へと帰るなど、愛らしい姿をご覧いただける予定です。

ニフレルでアメリカビーバーの赤ちゃんが誕生したのは、2018年6月に3つ子が誕生して以来2回目です。

【アメリカビーバーの双子の赤ちゃんについて】
《誕生日時》2023年6月2日(金)15:00頃
《性別》不明(成長後、血液検査にて判別予定)
《大きさ》体長約20cm、体重約500g(6月3日測定)



赤ちゃんの毛づくろいをするお母さん(愛称:ジャスミン)

【撮影のご案内】

生後1週間程度は毎朝赤ちゃんの体重測定を行う予定です。
詳しくは下記までご連絡ください。

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前
TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235
MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp



【アメリカビーバーについて】



英名: American beaver 学名: *Castor canadensis*

北アメリカの森林地帯の河川や湖に生息。ネズミの間ではカピバラに次いで大きくなり、成長すると体重が 30kg になることもある。木の枝でダムのような巣をつくることがよく知られ、半水生の生活で後足に水かきがあり、尾は平らで幅が広くオール状になっている。夜行性で夕方から活動し、大きくて頑丈な歯で木の皮や枝、葉などを食べる。通常一度の出産で 1~6 頭の赤ちゃんを産む。アメリカビーバーは、毛皮目的の乱獲により生息数が減少し、絶滅が危惧されたが、保護政策などで現在では回復傾向にある。

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

【名 称】 NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)

【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:村井 弘幸)

【所在地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内

【営業時間】 平 日 10:00~18:00

土・日・祝 9:30~19:00

※いずれも最終入館は閉館の 1 時間前

※状況により変更する場合があります。

【休 館 日】 年中無休。 ※年に 1 回設備点検のための臨時休館あり。

【施設内容】 展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごぎにふれる、つながりにふれる 合計 8 ゾーン)

ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200 m²・112 席)

ミュージアムショップ「NIFREL×NIFREL」

【交 通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩 2 分

【駐 車 場】 約 4,100 台(EXPOCITY 全体用駐車場)